

私を変えた日本人との交流

私が留学してから日本人と交流し、感じていることは計画的に物事をこなす人が多いということです。これまで日本人が仕事に関わることとなるとよくメモを取り、スケジュールリングしていることを目にしました。それはインドネシア人と大きく異なるところで、日本人と比べて先を見通し計画を作成し、計画どおりに事が運ぶように確認するといった意識がインドネシア人には足りないと感じます。電車の時刻表にも同様のことがいえます。日本の電車は発車時刻が遅れません。それはインドネシア日本人とちがって、電車が時刻表通りにということからもわかります。

なぜ、このような違いが生じているのか自分なりに考察してみました。一つの要因は気候にあると思います。インドネシアは年間を通して温暖であり、家がなくとも、のたれ死ぬようなことはありません。二つ目に周りが助けてくれるので飢えて死ぬようなことはありません。これらの事から経済的な活動を効率的に行う必要がなく、結果的に時間にルーズでも困らない文化や計画的でなくとも経済が成り立ってしまう環境が醸成されたのだと思います。

一方で、なぜ日本では計画に重きが置かれているか考えてみました。恐らく、日本人のこういった気質は社会的な必要があって培われたものだと思います。資源に乏しい国であるので外国に対抗するには効率的に製品を大量生産し輸出することで経済を回してきたことが計画的に事を運ばざるを得ない理由の一つとなったのでしょう。また、日本人には他人に迷惑をかけてはいけないと思う人が多いことも理由として挙げられます。他者を気遣う心が計画を通りに行動するという意識につながっているのではないのでしょうか。

よくインドネシアは日本の昭和時代のようにだと例えられることがあります。これはインドネシア経済が急速に発展してきている様を重ねているのだと思います。インドネシアには多大な労働力と資源がありますが、これを最大限活用していくには日本人のように計画的に事を進める意識とスキルが必要であり、日本に留学しているインドネシア人にとって最も学ぶべきものの一つであると考えます。